

喜多流
能

自然居士

シテ
人間国宝
友枝
昭世



第十九回

仙台青葉能

和泉流 狂言

入
間川

シテ
人間国宝
野村
万作

喜多流
能

春日龍神

シテ
佐々木多門



「自然居士」
友枝昭世 所演

平成28年5月14日(土)

午後1時30分開演(午後1時開場)

電力ホール(仙台市青葉区)

入場料(全席指定・税込) 2月19日(金) 一般発売
S席 10,000円 A席 8,000円
B席 6,000円 学生席 2,500円

主催/仙台青葉能の会、(公財)仙台市市民文化事業団、
河北新報社

お問い合わせ/河北新報社企画事業部
☎022(211)1332 ※10時~17時 土・日・祝休

共催/電力ホール

- ◆協力 仙台市博物館、中尊寺、(公財)瑞鳳殿、
①②③ 仙台放送局、伊達家伯(かはく)記念會、
古典芸能伝承の館「碧水園」
- ◆後援 宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、
仙台市教育委員会、仙台市能楽振興協會、
TBC東北放送、④仙台放送、⑤三キテレビ、
KHB東日本放送、Date fm、
松井建設(株)東北支店

プレイガイド 藤崎、仙台三越、さくら野百貨店仙台店、
仙台市青年文化センター1階事務室、
イズミティ21、チケットぴあ(Pコード
449-524)
電話でのお申し込み/河北チケットセンター
☎022(211)1189 ※10時~14時 土・日・祝休
※学生席は河北チケットセンターのみで販売
※未就学児のご入場はご遠慮ください。



※伊達家より家紋使用許可済み

第十九回

能葉青台仙

献香之儀

仙台伊達家十八代当主 伊達 泰宗

開演 午後一時三十分

仕舞

難波 佐藤 章雄
采女 佐々木宗生

地謡

佐藤 寛泰
狩野 了一
長島 茂
内田 成信

一時四十五分

喜多流

能

自然居士

シテ・自然居士

子方・少年 大島 伊織
友枝 昭世

ワキ・人商人 森 常好
ワキツレ・人商人 森 常太郎

大鼓 國川 純
小鼓 鶴澤洋太郎

松田 弘之

アイ・雲居寺門前者 石田 幸雄

後見

内田 安信
中村 邦生

地謡

塩津 圭介 友枝 雄人
大島 輝久 大村 定
金子敬一郎 香川 靖嗣
友枝 真也 長島 茂

休憩二十分

三時四十分

和泉流

狂言

人間川

シテ・大名

野村 万作

アド・太郎冠者 内藤 連
アド・人間の何某 高野 和憲

喜多流

能

春日龍神

後シテ・龍神

前シテ・春日明神の仕人 佐々木多門

ワキ・明恵上人 森 常好
ワキツレ・従僧 森 常太郎

大鼓 國川 純 小寺真佐人
小鼓 鶴澤洋太郎 松田 弘之

アイ・春日神社末社 中村 修一

後見

塩津 哲生
友枝 雄人

地謡

佐藤 陽 金子敬一郎
友枝 真也 狩野 了一
大島 輝久 栗谷 明生
佐藤 寛泰 内田 成信

終演予定 午後五時三十分

能「自然居士」

自然居士は仏法を衆生に親しませるため、剃髪せず舞歌・説法をもって伝道した僧。七日間の勧進説法が満願となる日、幼い少年が親の供養の為に衣を寄進にやってくる。その衣は、少年みずから人商人に身を売って用意したものであった。人商人は少年の姿を説法の間で見つけると、荒々しく引き連れて去ってしまう。居士は少年を救うことを即断して説法を中止し、一行の後を追いつ、大津の渡りで舟に乗りうとする人商人を呼び止める。人商人の難題をしのびながら機知的に応える自然居士。命がけで少年をかばい、強いられるままに若くしを見せる居士の姿に、商人もついに少年を返すことをやむなく承諾し、自然居士は少年を連れて都へ戻ってゆく。

狂言「人間川」

長らく都にきていた遠国の大名が、太郎冠者を連れて本国へ帰る途中、人間川に行き当たら。そこで出会った人間に住む男が「そこは深い！」と止めるのも聞かず、川を歩いて渡ろうとした大名は、深みにはまっつずぶぬれになってしまう。昔から人間では「人間様(いるまよう)」と言って逆さ言葉を使うはずだと怒った大名は、男を成敗しようとするが…。

能「春日龍神」

明恵上人は釈迦の教えを深く求める為、海を渡り遙かなる天竺(インド)までの旅を志す。旅立つにあたって信仰する奈良の春日明神に暇乞いの参詣をする、社人である老人が現れて、日本を離れることは明神の神慮に背くものだと上人を強く諫める。春日野の鹿たちも膝を折り頭を垂れて上人を礼拝するのであった。我が国に伝わった仏教は今が大事な盛りであり、唐土天竺に匹敵する寺社が日本にはすでにあり、国内において衆生を救うべきである。もし不審に思ふならば天竺のありさまをこの三笠山にてお見せしようといひ、時風秀行と名乗った老人はかき消えてしまう。やがて大地が震動して、仏教守護神たる八大龍王が眷属を引き連れて豪快に出現し、釈迦の諸相をことごとく展開して示す。上人の渡天断念を確認すると、龍神は猿沢の池水の中へ帰ってゆく。

前段は、春日明神の神意を伝える峻厳さ。後段においては龍神の雄大な躍動。構成が優れ、スケールの大きな人気曲です。